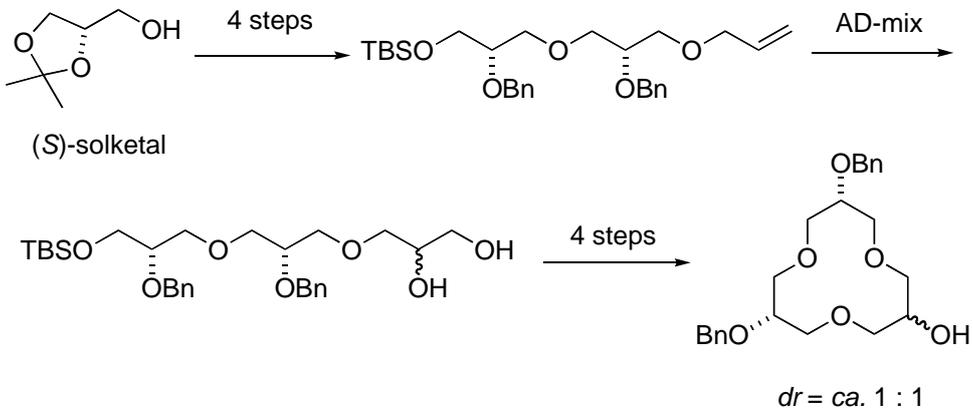
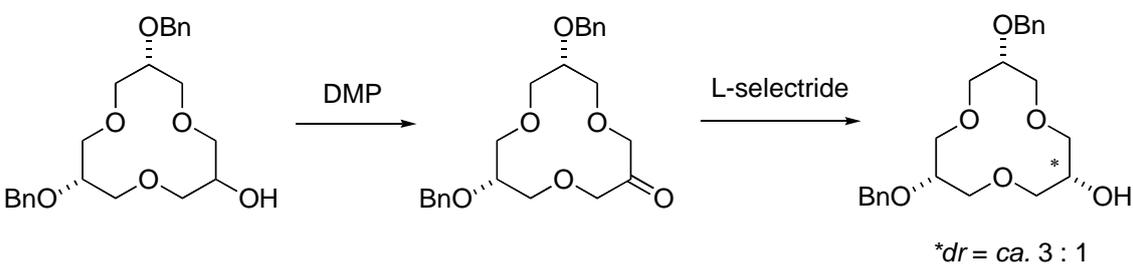


研究課題 (テーマ)		環状ポリグリセロールの効率的立体選択的合成法の開発とその応用		
研究者	所属学科等	職	氏名	
代表者	生物工学科	助教	濱田 昌弘	
研究結果の概要				
<p>環状ポリグリセロールの効率的立体選択的合成法に関する研究を行った。 光学活性ソルケタルから 4 工程を経て合成したアリルエーテルのアリル部への不斉導入を AD-mix 試薬を用いて検討したが、満足行く不斉収率は得られなかった (図 1)。</p>  <p style="text-align: center;">(図 1)</p>				
<p>一方、得られた環状トリグリセロールの水酸基を酸化した後、種々の還元剤を用いて再度アルコールへと変換した。L-Selectride を用いた際、若干ながら選択性が発現し、C₃-型のトリグリセロールが主生成物として得られることがわかった (図 2)。アルミニウム系の還元剤では選択性は全く得られなかった。</p>  <p style="text-align: center;">(図 2)</p>				
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> 不斉エポキシ化によるアリル部への不斉導入を検討する。 酸素以外の他の求核基 (N or S) の導入を検討し、その分子内エポキシド開環反応について検討する。 分子内エポキシド開環反応を鍵反応として、中員環を有する天然物の合成への応用を検討する。 				